

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2002-500811 (P2002-500811A)

【公表日】平成 14 年 1 月 8 日 (2002.1.8)

【出願番号】特願 平 11-511126

【国際特許分類】

H 0 1 R 12/04 (2006.01)

H 0 1 R 13/658 (2006.01)

H 0 1 R 12/16 (2006.01)

H 0 1 R 24/00 (2006.01)

H 0 1 R 107/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 9/09 D

H 0 1 R 13/658

H 0 1 R 23/68 3 0 3 Z

H 0 1 R 23/02 K

H 0 1 R 107:00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年6月16日

特許庁長官 殿



1. 事件の表示 平成11年特許願第511126号

2. 補正をする者

住 所 アメリカ合衆国. 01432 マサチューセッツ,
アイヤー, ウィロウ ロード 12

名 称 ハイブリコン コーポレーション



3. 代 理 人

住 所 〒100-0005

東京都千代田区丸の内3-2-3. 富士ビル602号室

電話 (3213) 1561 (代表)

氏 名 (6444) 弁理士 岡 部 正 夫



4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙のとおりに訂正する。



請 求 の 範 囲

1. コネクタであって、

近い方の端部と本体と遠い方の端部を持つ雌の接点において、前記遠い方の端部が、近い方の端部と遠い方の端部との間に、前記雌の接点の本体に沿って、雄のピンの周囲に空間領域を形成するために、前記近い方の端部にて挿入され、この近い方の端部から電氣的に絶縁している係合用の雄のピンと導電状態に係合することができる接触位置を含む雌の接点と、

前記雌の接点を収容するための室であって、前記本体と前記遠い方の端部とが、前記室により囲まれるように、また前記近い方の端部が、前記雄のピンによりアクセスすることができるように前記室に装着され、また前記雌の接点が前記室のハウジングから電氣的に絶縁されている室とを備えるコネクタ。

2. 請求項1に記載のコネクタにおいて、前記室が、導体材料によりコーティングされているコネクタ。

3. 請求項2に記載のコネクタにおいて、前記導体材料が、導電性プレート材およびワイヤ・メッシュからなる材料のグループから選択された材を含むコネクタ。

4. 請求項2に記載のコネクタにおいて、前記導体材料が、前記雄のピンおよび雌の接点を通して伝播する、信号により発生する電界をシールドするコネクタ。

5. 請求項1に記載のコネクタにおいて、前記コネクタを通して伝播する信号が、前記雄のピンの周囲に第一の方向の第一の磁界を発生し、前記雌の接点の周囲に第二の方向の第二の磁界を発生し、

前記第一および第二の方向が、ほぼ反対方向を向いていて、前記第一および第二の磁界を前記空間領域内でほぼ打ち消すコネクタ。

6. 請求項1に記載のコネクタにおいて、さらに、前記雌のコネクタの近い方の端部と結合している導体を備えるコネクタ。

7. 請求項6に記載のコネクタにおいて、前記導体が、硬質パネル、柔軟なバ

ネル、および硬質－柔軟パネルからなるパネル・タイプのグループから選択された回路パネル上に形成されるコネクタ。

８．請求項６に記載のコネクタにおいて、前記導体が、前記雌の接点の前記近い方の端部のところで、前記コネクタの前面を横切って、前記コネクタの側面の方向に折り返している基板上に装着されているコネクタ。

９．請求項８に記載のコネクタにおいて、前記基板が、「Ｌ」字型をしているコネクタ。

１０．請求項８に記載のコネクタにおいて、前記基板が、「Ｕ」字型をしているコネクタ。

１１．請求項８に記載のコネクタにおいて、さらに、前記導体に接続し、前記基板に装着している信号トランシーバを備えるコネクタ。

１２．請求項１に記載のコネクタにおいて、さらに、複数の前記雌の接点を収容し、対応する雄のコネクタに装着された、類似の複数の係合用の雄のピンを受け入れるための複数の前記室を持つ雌のコネクタ・ハウジングを備えるコネクタ。

１３．請求項１２に記載のコネクタにおいて、前記室の内壁部が、隣接する室の雌の接点が、導電性コーティングの二重の層により、相互にシールドされるように導電性シールド材によりコーティングされるコネクタ。

１４．請求項１２に記載のコネクタにおいて、前記室の外壁部が、導電性シールド材によりコーティングされるコネクタ。

１５．それぞれが、近い方の端部のところに、雄のピンの受けるための開口部を持ち、また遠い方の端部のところに、前記雄のピンと導電状態で係合するための結合部分を持つ複数の雌の接点と、

前記雌の接点を支持し、空間内に位置し、前記雌の接点の前記開口部に対応する類似の複数の開口部を含む基板と、

前記雌の接点の近い方の端部に電氣的に接続している前記基板の導電性経路と、

前記接点が前記基板により前記室に囲まれ、また前記近い方の端部が、前記開口部を通して前記雄のピンによりアクセスすることができるよう、前記室内に

位置していて、また前記室から電氣的に絶縁している、前記雌の接点を収容するための類似の複数の室とを備える、雄のピンを持つ雄のコネクタと整合することができる雌のコネクタ。

16. 請求項15に記載のコネクタにおいて、前記室が、導体材料によりコーティングされているコネクタ。

17. 請求項16に記載のコネクタにおいて、前記導体材料が、導電性プレート材およびワイヤ・メッシュからなる材料のグループから選択された材料を含むコネクタ。

18. 請求項16に記載のコネクタにおいて、前記導体材料が、前記雄のピンおよび雌の接点を通して伝播する信号により発生する電界をシールドするコネクタ。

19. 請求項15に記載のコネクタにおいて、前記導電性経路が、硬質パネル、柔軟なパネル、および硬質-柔軟パネルからなる、パネル・タイプのグループから選択された回路パネル上に形成されるコネクタ。

20. 請求項19に記載のコネクタにおいて、さらに、前記コネクタの側面のところで、前記導電性経路と接続している接点ピンを備えるコネクタ。

21. 請求項20に記載のコネクタにおいて、前記接点ピンが、それぞれが、装着用孔部で各ロール・ピンを圧縮することができる縦方向のスロットと、第一および第二の装着用孔部で、それぞれの異なる程度の圧縮を行うことができる横方向のスロットを持つ、前記接点ピンが、管状ロール・ピンを備えるコネクタ。

22. 請求項19に記載のコネクタにおいて、前記回路パネルが、前記雌の接点の前記近い方の端部のところで、前記コネクタの前面から、前記コネクタの側面の方向に折り返している「L」字型の基板上に装着されるコネクタ。

23. 請求項15に記載のコネクタにおいて、前記コネクタを通して伝播する信号が、前記雄のピンの周囲に第一の方向の第一の磁界を発生し、前記雌の接点の周囲に第二の方向の第二の磁界を発生し、

前記第一および第二の方向が、ほぼ反対方向を向いていて、前記第一および第

二の磁界を、前記近い方の端部と前記遠い方の端部の間の各雌の接点の領域内でほぼ打ち消すように、前記領域が、対応する雄のピンと磁氣的に結合しているコネクタ。

24. 第一の端部と第二の端部を持ち雌の接点であって、前記第二の端部が、前記第一の端部に挿入され、前記第一の端部から電氣的に絶縁している係合用の雄のピンと導電状態で係合していて、前記雌の接点と前記雄のピンとの領域が、前記コネクタを通して伝播する信号が、前記雄のピンの周囲に第一の方向の第一の磁界を発生し、前記雌の接点の一部の周囲に第二の方向の第二の磁界を発生し、前記第一および第二の方向が、ほぼ反対方向を向いていて、前記第一および第二の磁界を、前記雌の接点と前記雄のピンとが磁氣的に結合する領域内で、ほぼ打ち消すように前記領域が磁氣的に結合しているコネクタ。

25. 請求項24に記載のコネクタにおいて、さらに、前記雌のコネクタの前記第一の端部に接続している導体を備えるコネクタ。

26. 請求項25に記載のコネクタにおいて、前記導体が柔軟な回路パネルに装着されているコネクタ。

27. 請求項24に記載のコネクタにおいて、さらに、複数の前記雌の接点を支持し、対応する雄のコネクタ・ハウジングに装着されている、複数の係合用の雄のピンを受け入れるための雌のコネクタ・ハウジングを含むコネクタ。

28. 請求項27に記載のコネクタにおいて、さらに、前記雌の接点を収容するための室を備えるコネクタ。

29. 請求項28に記載のコネクタにおいて、前記領域内の前記信号により発生する電界が、前記室内に実質的に閉じ込められるように、前記室が、導電性シールド材でコーティングされるコネクタ。